

# 施設利用等の提供

(370,090 千円)

## 1 産業会館管理運営事業

(自 204,320 千円)

### 【事業目的】

現状課題	<p>○県立広島産業会館は、東展示館・本館と西展示館で構成され、県内企業を中心として工業製品や特産品、新製品の展示等に会場を提供し、販路拡大等を通じて本県産業の振興を図ることを目的として事業に取り組んでいる。</p> <p>○しかしながら、東展示館・本館においては築 50 年を経過していることから、老朽化した施設を適正に維持するとともに、バリアフリーへの対応など、利用者のニーズにマッチした機能を整備する必要がある。</p> <p>○また、景気の後退期に新型コロナウイルスの流行が重なり、展示会やイベントの開催中止や、イベントからの撤退等により、かつてない収入の落ち込みが生じたことから、施設の管理運営等の経費を利用料金で賄うことが厳しい状況となっている。</p>
目的	<p>○このため、全ての利用者、主催者に対して平等で安全・安心、快適な利用環境の提供を基本に、徹底した経費の削減によって当館の管理運営に取り組み、施設利用料収入の増加及び面積稼働率の向上との両立を図る。</p>

### 【事業概要】

- ◇ 適切な施設の整備及び管理・運営による利用者の満足度の向上
- ◇ 「ひろしま BOX～メイド・イン・ひろしまギャラリー」における県内製品の情報発信
- ◇ 「メッセひろしまギャラリー」における県内企業やクリエイターの成功事例等の紹介
- ◇ 外部リソースを活用した新規顧客開拓、来場者や利用者へのアンケート調査による顧客情報の収集
- ◇ 「ひろしま AI・IoT 進化型ロボット展示会」による県内企業のイノベーションの促進
- ◇ コミュニティ媒体の活用など、催事の PR 機能強化による顧客の定着促進

	概要
施設の整備及び管理・運営	○老朽化した施設の機能維持や、バリアフリー化など利用者から要望の多い設備の更新を行う。
広島 BOX～メイド・イン・ひろしまギャラリーの運営	○工業製品、酒・食品関連、健康・美容、伝統工芸品など、広島県の宝である県内企業等の製品をカテゴリー別に展示し、広島産業会館の来場者に紹介する。また、広島 BOX 出展企業と地域の小学生との交流事業を行う。
メッセひろしまギャラリーの運営	○広島で活躍するクリエイターや企業、プランナーのコラボレーションや新たなチャレンジの成功事例を紹介するとともに、広島県の観光・イベント情報や、産業支援等の様々な情報を提供する。
新規顧客開拓と来場者・利用者アンケート調査	○(一社)広島イベント振興協会を活用し、広島産業会館を利用したイベントの企画書を多角的な視点で作成させ、県内外の主催者に新たなイベントの提案・誘致を行うことにより新たな顧客を開拓するとともに、アンケート調査により、来場者の属性、利用者の満足度やニーズを把握する。
ひろしま AI・IoT 進化型ロボット展示会の開催	○日刊工業新聞社とのコラボにより、最新の技術動向等を踏まえた展示会を自主事業として開催する。
コミュニティ媒体を活用した PR の実施	○広島市及びその近郊を放送エリアとするコミュニティ FM 放送局で、月に一度、数分間の放送枠を確保し、翌月の広島産業会館のイベントを PR する。

### 【年間目標】

	目標
利用料等収入額	204,320 千円
面積稼働率	22%

## 2 産業技術交流センター等管理運営事業 (県・団・自 145,747 千円)

### 【事業目的】

公共的団体の事務室利用及び商工業者、産業関係諸団体への研修室等の貸出しなどにより、県内産業の振興に資する目的を一層増進させるため、「産業技術交流センター」の適正な管理運営に努める。併せて「広島県情報プラザ」の一体的な施設管理にあたる。

### 【事業概要】

	概要
貸会場の運営	研修室等6会場, 事務室(R3.1月現在9団体)及び一般来客者用(85台)・入居団体用(14台)駐車場の運営
情報プラザの施設管理	県の長期保全計画を基本とし、情報プラザの計画的な施設機能の維持。

### 【年間目標】

	目標
研修室等の利用件数	年間 1,400 件 (指定管理期間の平均値)
収支確保	コロナ禍における収支バランスの確保
指定管理	次期(R4~R8)指定管理者への指名

## 3 インターネット各種支援情報等提供事業 (県 15,832 千円)

### 【事業目的】

現状	○財団の情報処理システムは、H29.3 に共有ファイルサーバ等の更改を行って以来、システムの見直しを進めていない。
課題	○クラウドサービスなどの急速な技術発展に伴い、財団の情報処理システムは相対的に非効率化・低機能化しつつある。
目的	○効率化・高機能化が進むクラウドサービスを活用することで、財団の情報処理システムを効率化・高機能化を実現し、財団業務の効率化、情報収集力・発信力の強化を図る。

### 【事業概要】

	概要
Hiwave ネットワーク環境の保守運用管理	○財団のサーバ、パソコン、ネットワーク等の保守運用管理 ○更改した Hiwave システムの安定的稼働
財団 HP の運用管理	○外部中小事業者に向けた財団実施事業の情報発信
情報収集	○経済誌、業界紙等から、財団職員の業務に関連した情報収集

### 【年間目標】

	目標
更改した Hiwave システムへの職員の習熟	○更改した Hiwave システムへの早期の職員の習熟
新ホームページサーバーの立ち上げ	○現ホームページサーバ終了(R4.3)前に新サーバを確保し財団ホームページコンテンツを円滑に移行

## 4 中小企業大学校広島校運営協力事業 (県 4,191 千円)

中四国ブロック唯一の中小企業大学校であり、中小企業の経営者、幹部社員、若手社員などの研修機関として実績のある中小企業大学校広島校に職員を派遣し、同校の運営を支援する。